



「天晴れ！（あっぱれ）」

校長 金山 達也

昨年の9月は文化祭の開催をあきらめ、体育大会と修学旅行を実施しました。今年は緊急事態宣言のまただ中にいます。予定していた文化祭も9月11日から9月23日、そして、10月9日となりました。度重なる延期に、スケジュールの再調整など、ご負担をおかけしている保護者の皆様のことを考えると、私自身も気分がもやもやしております。しかし、このような状況を前向きにとらえながら、文化祭の練習に向かう子どもたちがいます。緊急事態宣言による2度の延期、放課後の準備も中止、一生懸命覚えた演劇の台詞や動きも忘れない程度に練習の回数を削減している状況です。昨年できなかった文化祭に対する思いは私よりも強いかもしれません。

9月8日、私の主張の学級予選に審査員として参加しました。主張のテーマは様々でした。「自分自身に関わること」「友達の大切さ」「社会問題」「戦争について」「コロナ禍」「美瑛町について」など……。自分の普段感じている思いや自分で調べたことを、自分の言葉で表現し、自分の気持ちを込めて、堂々と発表する姿がありました。

1年生は自分の願いや気持ちをまっすぐ、ていねいに自分の言葉で表現していました。

2年生は自分の視野を広げ、多角的な見方でそれぞれのテーマに向き合っていました。

3年生はテーマを掘り下げ、何よりも聞く人に訴えかけるその熱意に圧倒されました。

令和3年度が始まって約半年、制限された教育活動の中で確実に歩みを進める子どもたちに「あっぱれ（感動と賞賛）」です！

私は今年で教員生活32年目となりました。この間、多くの子どもたちと接してきました。ここまで迷い無く進んで来られたかと言えば・・・NOです。うまくいかない事の方が多かったと思います。そんな時にいつも支え、励ましてくれたのは、目の前の子どもたちでした。中学生くらいになると教師（大人）があれこれ考えるより、子どもたちに思い切って任せてみるの方がうまく事が進む場合が多くなってきます。失敗しないように大人が先回りすることは、かえって子どもの成長の機会を奪ってしまうことにもなりかねません。「子どもの成長は想定以上」と感じる場面をたくさんみてきた32年間でした。

このコロナ禍が子どもの成長に大きく作用していることは言うまでもありません。しかし、嘆いてばかりもいられません。この状況をいかに、前向きにとらえられるかが私たちに課せられた使命のような気がします。あと2～3年は続くという専門家の意見もありますが、子どもたちにとって貴重な中学校生活の3年間を共に歩んでいきたいと思います。

2学期が始まって1ヶ月、日々たくましく確実に成長する子どもたちをみていると、緊急事態宣言延長でぐちゃっぽくなっている自分に「喝（かつ）！」を入れたくなる今日この頃です。

美馬牛の扉

私の主張

「少年の主張全国大会」に代表されるように、同様の大会がいろいろな団体の主催で実施されています。本校のように文化祭(学校祭)のプログラムとして実施する学校も多く、広い視野と柔軟な発想・創造性、論理的思考や相手に伝える力を養うことが主な目的とされます。10月の文化祭では各学年の代表による発表が予定されています。

校舎改修工事～大部分が終わりました

夏休み前から始まった校舎の改修工事も大詰めを迎えました。各学年の教室や廊下は以前よりかなり明るくなったと感じます(写真左だけビフォーアフター)。一部教室の備品も入れ替えました。この原稿を書いている時点では、玄関のゴムタイルとアスファルトの継ぎ目と、体育館の暖房機取替が残っています。暖房機取替が完了するのは文化祭直前の予定です。



ボランティア清掃のお知らせ

10月15日(金)に恒例のボランティア清掃を予定しています。学校を起点に4つのグループに分かれ、地域の清掃活動を行う予定です(写真は昨年度の様子です)。ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。



10月の主な行事予定

1日(金)	職員研修日(5時間授業)	19日(火)	常任委員会
6日(水)	1年食育授業	21日(木)	英検 IBA
7日(木)	文化祭総練習(5時間授業)	22日(金)	町教研研究大会 (1・2年午前授業、3年5時間授業)
8日(金)	第2回英語検定(一次)	25日(月)	命の授業
9日(土)	第66回文化祭	26日(火)	3年期末テスト(27日も) 2年防災教室
11日(月)	振替休業	28日(木)	2年職場体験
13日(水)	職員会議(5時間授業)	29日(金)	進路説明会
14日(木)	3年学力テスト(総合B)		
15日(金)	ボランティア清掃		
18日(月)	認証式・生徒総会 1年職場見学(19日も)		

※生徒アカウントからも見られるようにしましたので、ご自宅の情報端末でもお試ください。

※本通信は、個人情報保護の観点から、ご家庭でのみお読みください。